

さくらがわ

市議会
だより

Sakuragawa City Council

81

第3回定例会号

令和7年11月1日
(2025年)



当市ホームページの
市議会情報ページへ
アクセスできます。



[特集] 令和6年度決算認定 市税の使い道

決算認定と総括質疑

2P

審議された議案と結果

3P

10名の一般質問

4~8P

視察研修レポート

9P

文教厚生常任委員会

建設経済常任委員会

委員会報告

10~11P

富山県議会視察来庁

12P

上曽トンネル開通式・編集後記

阿部田橋・・・桜川市高久

治水工事前の阿部田橋周辺では、
桜川が氾濫を繰り返していた。
穏やかな流れから加波山を望む。

令和6年度決算額 (円未満切り捨て) 昨年度比較増↑減↓

一般会計

歳入 227億347万円↑ 歳出 211億5,040万円↑

特別会計

国民健康保険	歳入 46億7,573万円↓	歳出 45億6,950万円↓
介護保険	歳入 47億4,163万円↑	歳出 42億3,636万円↑
介護サービス事業	歳入 1,464万円↑	歳出 1,256万円↑
後期高齢者医療	歳入 5億7,127万円↑	歳出 5億6,988万円↑

水道事業会計

収益的収入 10億7,941万円↓	収益的支出 9億7,722万円↑
資本的収入 6,542万円↓	資本的支出 2億1,054万円↓

病院事業会計

収益的収入 5億1,841万円↓	収益的支出 5億2,464万円↓
資本的収入 1億5,387万円↓	資本的支出 2億2,511万円↓

下水道事業会計

収益的収入 10億1,786万円↑	収益的支出 9億6,903万円↑
資本的収入 2億3,704万円↓	資本的支出 6億8,130万円↑

令和6年度

決算認定

市税の使い道

令和6年度

決算に関する

総括質疑

令和6年度決算案全体に対して、疑問や不明点を明らかにするため、市に説明を求めました。その中から、主なものを掲載します。

空き家対策事業

した空き家改修補助金を交付しています。

問 撤去が必要な空き家が多くあるが、どのような条件であれば公費で撤去されるのか。

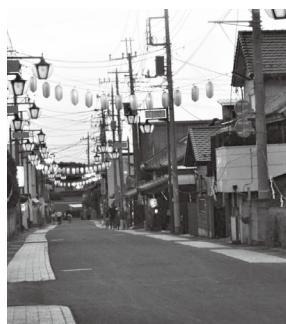
答 公費による撤去の実施に一律の条件というものはありません。国からの指針、各種法令、個々の空家の状況、所有者の有無等を踏まえ、空き家対策推進協議会に諮問し、法に基づいた手続きを経て、代執行が可能になります。

伝統的建造物保存地
区推進事業

問 伝建地区にも空き家

が増えており、ひなまつりの時に閉鎖している建物がある。市の対策を伺う。

答 令和7年1月に、当該地区を桜川市空家等活用促進区域に指定し、本年度から国庫補助金を活用



力向上事業」を通じ、新たな観光コンテンツの開発を行っていきます。

さらに、昨年度には伝建地区の地域活性化に関する協定を日本郵便株式会社と締結し、本年度、伝建地区に人を呼び込むための施策として、官公庁の補助金を活用した「地域観光魅力向上事業」を実施します。

審議された議案と結果 第3回定例会 (9月2日~9月12日)

令和6年度歳入歳出決算	
一般会計	認定
国民健康保険特別会計	認定
介護保険特別会計	認定
介護サービス事業特別会計	認定
後期高齢者医療特別会計	認定
水道事業会計	認定
病院事業会計	認定
下水道事業会計	認定
条例の制定・改正	
桜川市乳児等通園支援事業の設備及び運営に関する基準を定める条例	可決
桜川市職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例	可決
桜川市職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部を改正する条例	可決
桜川市税条例の一部を改正する条例	可決
桜川市手数料徴収条例の一部を改正する条例	可決
桜川市都市公園に係る移動等円滑化のために必要な特定公園施設の設置に関する基準を定める条例の一部を改正する条例	可決
桜川市水道事業給水条例等の一部を改正する条例	可決

令和7年度補正予算	
一般会計（第3号）	可決
国民健康保険特別会計（第1号）	可決
介護保険特別会計（第1号）	可決
介護サービス事業特別会計（第1号）	可決
水道事業会計（第2号）	可決
下水道事業会計（第2号）	可決
一般会計（第4号）	可決
人事・その他	
人権擁護委員の推薦につき意見を求める（2件）	適任
教育委員会委員の任命について	同意
公平委員会委員の選任	同意
和解及び損害賠償の額を定めることの専決処分事項の報告	報告
専決処分の承認を求めるについて（3件）	承認
和解及び損害賠償の額を定めることについて	可決
桜川市道路線の廃止について	可決
桜川市道路線の認定について	可決

問 新型ニアラート受信機はどのようなものか伺う。

答 Jアラートとは、全国瞬時警報システムという名称で、人工衛星を経由して、国からの緊急情報を防災行政無線等に伝達する仕組みです。今回の補正予算は、受信機を新型に更新するための市債です。

問 新型ニアラート受信機について

答 民票・証明書等の交付件数は、市全体の交付総数においてどれくらいの割合なのか伺う。

問 コンビニにおける住民票・証明書等の交付件数は、市全体の交付総数においてどれくらいの割合なのか伺う。

問 コンビニ交付について

答 コンビニ交付は、令和元年度途中からスタートし、住民票、印鑑登録証明書、非課税証明書、所得証明書、所得課税証明書の税務関係証明書を対象にしています。各証明書のコンビニ発行件数及び割合は以下のとおりです。

住民票・証明書等 コンビニ交付件数の推移

	交付総数	コンビニ交付数	コンビニ交付率
令和2年度	30,927	852	2.8%
令和4年度	28,225	2,988	10.6%
令和6年度	25,808	7,634	29.6%

ふるさと納税の現状と

活用方法について



武井久司議員

と納税を新たな販路として活用することができました。

地域おこし協力隊について

問
るさと納税制度
が展開されている。
桜川市への寄付額と
取り組み活用について
伺う。

地域おこし協力隊の採用と成果について伺う。

答 総合戦略部長 地域おこし協力隊は、里山保全活動、PR、移住支援に取り組んでいます。

協力隊制度の成果は任期終了後の定住率で全国68・9%、県61・5%、桜川市22・2%と大きく下回っています。

今後は任期中、任期後のサポート体制を強化し、定住率を伸ばしたいと考えています。

定住促進施策として、市内に住宅を取得する方に対し、最大2百万円が助成されている。これまでの新婚世帯家賃助成金の補助制度の実績、成果また家賃補助制度について伺う。

定住促進施策について

伝統工芸士会等の協力で
石材産業の復興を



菊池伸浩議員

壁の石灯籠の火を消さ
ないために、どのよ
な対策を考えているの
か、伺います。

市・笠間市の共同事業への負担金を抛出して
います。さらには、「いばらきストーンフェスティバル」への補助などを
行っています。石材業の振興は、市
総合計画でも「地場産業である石材業の振

石材業の振興は、市
総合計画でも「地場
産業である石材業の振
興」が謳われています
ので、引き続き支援を
進めてまいります。

「憲法9条の碑」が建てられました。この碑は、桜川市真壁町羽畠の石材店で作られたものです。終戦80年、憲法9条の平和を願つて碑が建てられています。これを紹介しておきます

The image shows two traditional Japanese stone lanterns (fusuma) standing side-by-side. They have a textured, dotted surface. Each lantern features a tiered, curved roof with a small, dark, square opening in the center of the front face. The lantern on the left is slightly shorter than the one on the right.

答 石材組合に対する補助では、真壁と黒の石材組合に、「石材振興」の補助金を出しています。

An illustration of a stonemason wearing a white cap and apron, using a power drill to work on a large, dark grey block of stone. The stone has several large, irregular cracks and a rough texture. The mason is focused on his work, with a determined expression. The background is plain white.



「ぐらす」の蔵書の贈入や大和駅北公園の整備です。

協力隊制度の成果は任期終了後の定住率で全国68・9%、県61・5%、桜川市22・2%と大きく下回っています。

答 市長公室長・建
設部長 家賃補助はしていません。
「人生応援プロジェクト」として、住宅取得助成、若者や子育て世帯へのお祝金や補助金を支給しています。
実績は令和5年度67件、令和6年度50件、令和7年8月までに13件の申請がありました。
これからも人口減少対策に寄与できる事業と思われる所以、実績を参考に制度の見直しや拡充を進めていきま

問 墓石業界の市場規模は、2000年で4,500億円、2015年2,500億円、最近では1,700億円と言われています。日本石材産業協会でも、「全国お墓なんでも相談室」、「消費者に対するルールづくり」をするなどしています。

石灯籠伝統工芸士会
真壁地区には、真壁
といふ組織があります
そこで、会長は、「石の
真壁、真壁の石灯籠に
自信をもつて、石製品
をつくつていこう」と
述べています。

答 経済部長 市内石材組合に対する補助では、真壁と戸黒の石材組合に、「石材振興」の補助金を出しています。

また、結城市・桜川もありまます。

真壁石灯籠の補助金

An illustration of a stone mason wearing a white cap and apron, using a power tool to work on a large, textured stone block.

分離型小中一貫校の可能性



飯島洋省 議員



学校統合を見据
えながらも、今

できるることを考え
くことが重要です。統
合か現状維持かではな
く、大和地区でいえば、
現状の3校配置を生か
す「分離型小中一貫教
育」の導入、地域全体
で「大和義務教育学校」
としてモデル化し、將
來の統合校設置を見据
える2段階方式、第三
の道を検討すべきと考
えるが、市の見解を伺う。



答 教育部長 小中

義務教育学校以外に一
貫型小学校・中学校が
あり、校舎の設置状況

ながら、教育課程や指
導体制を一体的に運営
する仕組みです。

特徴は、①系統的・
継続的な学習を通し、
一人一人への寄り添い支
援が可能、②「中一ギヤッ
プ」の緩和、③異学年
の交流を通じた精神的
な発達や社会性の育成、
④学校と地域のコミュニ
ティとの関係の継続・維
持、⑤新設の費用が発
生しない財政負担の抑
制などがあげられます。

大和中学校区において
は、現在、小中連携・
一貫教育協議会を組織
し、似た活動を行ってい
ますが、協議会での認
知度は低い状況です。

その他質問

- ・体育館トイレ老朽化対応
- ・空き家活用と危険対応
- ・地区計画の実績と展望
- ・ふるさと納税の多様化

3校配置のまま小中
一貫教育を行う、施設
分離型を導入し、将来
統合という段階的なア
プローチは、一つの案と
して検討します。



答 市民生活部長 空き巣件数は、
令和3年から6年の4
年間で30件が発生して
います。また、本年7
月末現在4件の空き巣
被害が出ております。



答 市民生活部長

注意喚起が必要と思う。
有効利用について伺つ。

緊急性が高いと
きに防災無線を活用し
ており、今後も、桜川
警察と連携し活用した

いと考ております。



答 保健福祉部長 県内は筑西市を
含め19市が確認され今
後は具体的に検討し計
画を進めてまいります。

う。



答 経済部長 助成金の現状・
周知について伺う。

街づくり助成金
が、申請があつた
事業には、内容を審査
し、前年度10団体に交
付した実績があります。

桜川市の防犯対策について



市村 香 議員



答 市長 地域にお
ける防犯対策な
ど、様々な観点より、
よい助成制度を検討し
てまいります。



答 市長 地域にお
ける防犯対策な
ど、様々な観点より、
よい助成制度を検討し
てまいります。



答 経済部長 観光
協会との連
携について伺う。



答 経済部長 観光
協会との連
携について伺う。



答 経済部長 観光
協会との連
携について伺う。



答 経済部長 観光
協会との連
携について伺う。



答 経済部長 観光
協会との連
携について伺う。



答 経済部長 観光
協会との連
携について伺う。



答 経済部長 観光
協会との連
携について伺う。



答 経済部長 観光
協会との連
携について伺う。

商工業振興の現 状について伺う。

答 経済部長 従来
の事業のほかに、
令和6年度から、「就
職祝い金事業」「賑わ
い創業支援事業」、令
和7年度からは、市内
への移住を伴う県内就
職支援金事業」が行わ
れています。



答 市長 地域にお
ける防犯対策な
ど、様々な観点より、
よい助成制度を検討し
てまいります。



答 市長 地域にお
ける防犯対策な
ど、様々な観点より、
よい助成制度を検討し
てまいります。



答 経済部長 観光
協会との連
携について伺う。



答 経済部長 観光
協会との連
携について伺う。



答 経済部長 観光
協会との連
携について伺う。



答 経済部長 観光
協会との連
携について伺う。



答 経済部長 観光
協会との連
携について伺う。



答 経済部長 観光
協会との連
携について伺う。



答 経済部長 観光
協会との連
携について伺う。



答 経済部長 観光
協会との連
携について伺う。



答 経済部長 観光
協会との連
携について伺う。

商工業振興の
現状について

状況について伺う。

う。

う。

う。

う。

みんなの声を市政に一般質問



萩原剛志 議員

災害対策について

持管理や使用頻度が限られる中で、コスト負担に関する課題もあるため、慎重に検討してまいります。

今後の学校体育
館の空調設備整備計画について伺う。

トイレトレーラーは、牽引してきて設置するだけで、すぐに使用できるトイレサービス。災害時だけでなく、イベント等でも使用することができる。

が未整備の山間部や災害時に地上の通信回線が遮断された場合でも衛星通信により、インターネット接続が可能な仕組みであると認識しております。

問 災害時等に備え
スター・リンク
(衛星通信) の早期の
導入を検討していただきたい。

して整備していきたいと考えております。整備に当たりましては、来年度に設計業務委託を行い、再来年度には国からの交付金などを活用して工事が発注できるように進めてまいります。

- ・田んぼダムの推進について
- ・小学生の登下校時における熱中症対策について
- ・マダニ媒介感染症（FTS）などの対策について
- ・ナラ枯れ等による危険木の倒木対策について

その他の質問

学校体育館の空 調設備整備について

筑波山と



林 悅子議員

筑波山の北側は
桜川市だが、倒
木や草に雑然と覆われ
荒廃がひどい。対策を
伺う。

経済部長 国有
林を管理する森
林管理署、地権者、市
が協議し、伐採撤去を
行つてまいります。

問 答

希少動物・植物
の生態系につい
ては、どうか。

経済部長 経済部長
県環境政策課に
よると、「筑波山のブナ
林は、手入れが行き届
かないため、成木が痛
み、若木も育たず、衰

問 岩瀬駅すぐ脇の
御獄山を起点と
し、雨引、加波、足尾
の嶺々を縦走できる、
『関東ふれあいの道』
は、軽登山ルートとして、
幅広い年齢の方々
に人気がある。途中に
は、ふもとの集落や神
社仏閣に至る下山ルー
トもあり、様々な楽し
み方ができる。

退を危惧している。苗木200本を植樹するなど、保存活動を進めている」とのことです。また、「生息が確認されているツクバハコネサンショウウオについては、慎重に対応している」とのことです。

桜川市の外国籍者居住状況 (R7.7.1現在)

・ 外国籍者の居住状況
その他の質問

われた、歌詠神社など、歴史の宝庫がある。この稜線林道の価値を再考し、市の顔として整備できないか伺う。

年代別	
20代	290人
30代	236人
40代	131人
国別	
ベトナム	195人
インドネシア	149人
中国	138人

居住地（上位）	
元岩瀬	73人
明日香	46人
東矢貝	45人
田	39人
富十見台	37人

文教厚生常任委員会視察研修レポート

委員長 市村 香 副委員長 中田拓也
委 員 風野和視・川般 隆

視察日 令和7年6月25日（水）～6月27日（金）

出席委員 4名

視察先 北海道厚真町・富良野市・南幌町

廃校を利用した「触れる」郷土資料展示

厚真町では、文化財の発掘調査と展示について研修を受けました。小学校跡地を再利用した軽舞遺跡調査事務所は、一般市民や小学生が展示物を直接手に取って学習できる「ハンズオン展示」に取り組んでおり、資料の展示・活用手法において大きな学びがありました。

スマートシティの取り組みについて

富良野市では、ICT（情報通信技術）を活用した職員の働き方改革と市民の利便性向上に取り組んでいます。タブレット端末を利用した高齢者の見守り支援や、部活動オンライン支援等の実証実験と、その成果について説明を受けました。

こども室内遊戯施設「はれっぱ」

南幌町では、令和5年5月に開業した施設「はれっぱ」を見学しました。公園に隣接した建物内には、大型のアスレチック遊具やカフェが設置されており、悪天候でも室内で子どもを遊ばせることができます。開業以降、40万人を超える来館者があるということでした。



建設経済常任委員会視察研修レポート

委員長 軽部 徹 副委員長 武井久司
委 員 潮田新正・小高友徳・鈴木裕一

視察日 令和7年7月16日（水）～7月18日（金）

出席委員 5名

視察先 新潟県新潟市・佐渡市・三条市

直播栽培と自然圧パイプラインについて

新潟市では、西蒲原土地改良区において、直播栽培や水管管理の省エネ化等について研修を受けました。

V字溝乾田直播栽培は、地中に埋設したパイプで雨水等を貯水し、秋に耕起・代かきを行い、種もみを田に直播することで育苗と田植え作業を省略する農法です。

また、配水槽式自然圧パイプラインシステムは、用水路から高い位置にある配水槽に貯水し、自然圧により送水を行う方法で、従来の方法と比較すると、電気料金が82%も軽減された例もあるとのことでした。

小倉千枚田の保全活性化事業について

佐渡市は、生態系に配慮した取り組みや、美しい景観、

伝統的な農文化が評価され、日本初となる世界農業遺産に認定されています。佐渡米認証制度や、棚田オーナー制度等について説明を受けました。

燕三条地場産業振興センター視察

三条市では、道の駅 地場産業振興センターを視察しました。金属加工品などの展示・販売のほか、隣接する産業支援施設と併せ、地域産業の拠点となっています。



委員会報告

桜川市議会議員は、全議員がいずれかの常任委員会に所属し、それぞれ所管の事案について審議しています。このページでは、その審議内容や各委員会の活動状況を報告します。

建設 常任委員会

建設 常任委員会

今号は建設経済
常任委員会に注目



◎軽部 徹



○武井久司



潮田新正



小高友徳



鈴木裕一

水稻の病害虫防止について

令和6年度は、航空防除や育苗箱施用剤等購入のための補助金を活用し、イネ縞葉枯れ病の被害を抑えることに成功しました。

一方でカメムシによる斑点米の被害が増加していることに対し、新たな対策を講じるよう要望しました。

地域の経済活性化を

令和6年度実施した、地域応援チケットの換金率は89.87%で、市民に広く利用されています。今後も、国の経済対策の動向に注視しながら、市内経済活性化のための施策に取り組むよう要望しました。

市内石材産業の振興を

商工振興事業においては、市内石材事業者で構成される2つの石材組合に対して補助金を交付しているものの、近年は各組合員数が減少傾向にあると説明を受けました。本市の歴史ある地場産業である石材産業の、担い手確保を含めた振興支援を要望しました。

街路樹の維持管理について

磯部地区でおこったヤマザクラの枝とトラックの接触事故では、多額の損害賠償を被ったという報告がありました。自動車や歩行者の安全を確保するため、街路樹管理の予算を増額し、維持管理の充実を図っていくよう要望しました。

伝統的建造物の活用を

民間活力導入支援業務委託は、旧木村家住宅や旧真壁郵便局について、民間運営を検討するためのコンサル業務委託です。令和6年度は、日本郵便株式会社との協定締結や、地域観光魅力向上事業において着実に成果を上げ、真壁の町並みを守り活かす業務が進展していることを確認しました。

水道の運営と下水道の維持

水道事業は、広域連携を推進し、効率的な管理運営に取り組むよう要望しました。

下水処理施設の老朽化を十分勘案した上で、定期点検の強化と適切な維持管理に取り組むよう要望しました。

総務常任委員会

委員長 飯島洋省 副委員長 榎戸和也
委 員 林 悅子・小林正紀・仁平実・萩原剛志

リサイクル品売却代について

家庭から出た資源ごみの売却代は、行政区にとって大切な財源です。盗難被害にあわないよう、各地区への啓発と、リサイクルステーションに出された資源ごみの速やかな回収を要望しました。

市の広報紙について

月に2回発行されている市の広報誌について、現在の回覧方式は、住民の負担も大きく、配布に時間を要しています。両紙の内容を凝縮し、月1回の発行とすることの検討と、効率的な情報発信を図ることを要望しました。

市役所新庁舎について

新庁舎建設事業は、令和6年度の決算に引き続き、おおむね予算内に収まっており、現在は詳細設計や構造設計を進めていることを確認しました。

地域おこし協力隊について

隊員としての活動期間終了後も本市に定住できるよう、隊員募集の段階から定住を見据えた受け入れを行い、就任後は隊員の意思を尊重しサポートしていく体制を構築することを要望しました。

ヤマザクラの活用について

ヤマザクラを活用した市PRについて、効果を測るために具体的な数値として、来訪者数やイベント参加者数などの定量的な評価が可能な指標を設定することを要望しました。継続的な事業評価を行い、さらなる魅力発信を進めるよう求めます。

桜川筑西 IC周辺地区開発

新たに市が取得した用地については、周辺地区開発の状況を見極め、計画的な整備に努めるよう要望しました。

文教厚生常任委員会

委員長 市村 香 副委員長 中田拓也
委 員 風野和視・菊池伸浩・川股 隆

外国語教育の推進を

桜川市では、小学校3年生から中学校3年生までの授業のほか、小学校1、2年生や学童クラブにも外国語指導助手の派遣を行い、低学年から英語に慣れ親しむ時間が設けられていると説明を受けました。引き続き、外国語教育の推進を要望しました。

温水プール施設の整備を

温水プール「サンパル」は、開館から30年以上が経過し、毎年必要最低限の修繕を行っている状況です。今後は、「サンパル」だけでなく、学校施設のプールも含めて、教育委員会として管理運営の方向性を検討していくことを要望しました。

文化財デジタルアーカイブの活用

真壁伝承館などに収蔵されている文化財の一部の資料画像や、伝統民俗芸能の映像がデジタルアーカイブとしてインターネットで公開されています。多くの市民に認知され、幅広く活用されるよう、一層の周知を要望しました。

カイブとしてインターネットで公開されています。多くの市民に認知され、幅広く活用されるよう、一層の周知を要望しました。

成年後見人制度について

成年後見人制度の周知や理解促進、後見人候補者の育成、サポート体制の充実を図るよう要望しました。

介護保険給付について

介護予防や要介護認定の適正化により、要介護2以上の中・重度の要介護認定者は、令和5年度より56人減少し、給付費が抑制されています。今後も高齢化に伴う要介護認定者の増加が見込まれますが、引き続き適性な高齢者支援や介護保険給付が行われるよう要望しました。



令和7年7月29日、富山県議会 厚生環境委員会(議員7名、職員6名)が、さくらがわ地域医療センターを行政視察で訪れ、病院の再編統合について研修をされました。

統合の経緯や、医療体制の変化について桜川市保健福祉部健康推進課より説明を受けた後、病院施設の見学を行いました。

富山県議会議員の皆さまからは、「民間を交えた3病院の再編統合はいつごろから協議をスタートしたのか」「資金拠出や経営など、公民連携の複雑な課題を、誰が主体となって主導したのか。県はどのように関わったのか」などのご質問をいただきました。

9月27日 上曽トンネル開通式



開通式当日は、桜川市・石岡市と茨城県の関係者が集い、事業着手から長い年月を経た末のトンネル開通を祝しました。トンネルの長さは3,538mで、茨城県内で最長となります。

桜川市議会を代表して、風野議長は、「上曽峠は、幅員の狭さや冬季の路面凍結により、長年交通の難所となっていました。このトンネルが県西地域と県南・県央地域をつなぎ、産業や物流・観光を支える基軸として、今後の茨城県の発展に大きく寄与することを期待します。」と祝辞を述べました。

編集後記

今年は選挙の年と言われ、桜川市では、参院選、知事選、市長選が行われました。

7月の参院選挙では、女性新人候補者が当選し、「現職2人の指定席」と言われていた状況に新しい風を吹き込みました。

8月の知事選挙は、告示前日に突然立候補した候補者方が善戦し、選挙に新しい風を吹き込みました。

10月の市長選挙は、3回連続で同じ候補者で争われました。選挙運動も静かな雰囲気で、投票率も50%を超える、平穏な選挙となりました。

菊池 伸浩

お知らせ

榎戸和也元議員は、令和7年10月19日執行の桜川市長選挙に立候補したため、公職選挙法第90条の規定により、令和7年10月12日付で市議会議員の職を自動失職いたしました。

議会広報特別委員会

委員長 中田拓也 副委員長 武井久司
委員 林 悅子・菊池伸浩
飯島洋省・軽部 徹
発行責任者 議長 風野和視

次の定例会は
12月9日(火)
10時開会予定です。
みなさまの傍聴をお待ちしています。

議会日誌

8月

- 8日 中学生議会
- 19日 筑北環境衛生組合議会定例会
- 25日 総務常任委員会
- 27日 文教厚生常任委員会
建設経済常任委員会
- 28日 議会運営委員会
議員全員協議会

9月

- 2~12日 第3回定例会
- 9日 総務常任委員会
文教厚生常任委員会
建設経済常任委員会
- 12日 議会全員協議会

10月

- 15日 議会広報特別委員会
- 20日 長生都市広域市町村圏組合
視察受け入れ
- 28~30日 総務常任委員会視察研修